

# 阿賀町の橋を長持ちさせる計画

## 橋梁長寿命化修繕計画

令和3年3月 策定

令和5年3月 一部改訂

### 1. 長寿命化修繕計画の背景・目的

#### 背景・目的

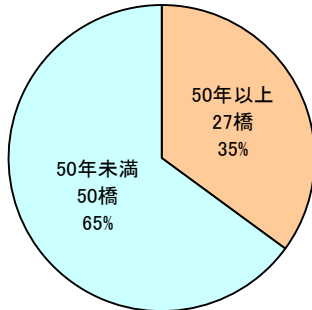
阿賀町は、令和2年度現在で179橋の道路橋を管理しています。架設年が判明している77橋では、1960年代より順次架設され、現在50年以上経過した高齢化橋梁は35%ですが、20年後には73%となり橋梁の高齢化が急速に進行することが懸念されます。

このような背景を踏まえ、今から計画的な維持補修をしていかないと、大規模な補修や架け替えの費用が増大し、今後、財政への大きな負担になることが懸念されます。

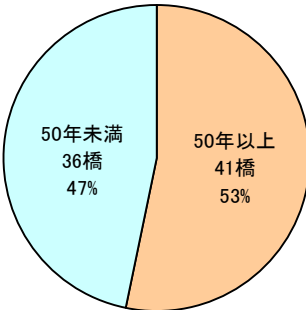
阿賀町は、管理する橋梁について定期的な点検を継続して行い、健全性を把握することに努めます。また、点検結果を踏まえて損傷が小さい時点から適切に補修を行うことにより維持管理コストの縮減を図り、安全な道路利用のサービスを提供することを目的に長寿命化修繕計画を策定します。

今回、新たにコスト縮減や事業の効率化を行うため、新技術の活用や費用縮減に関する具体的な方針、短期的な数値目標を設定したため、現計画を改訂します。

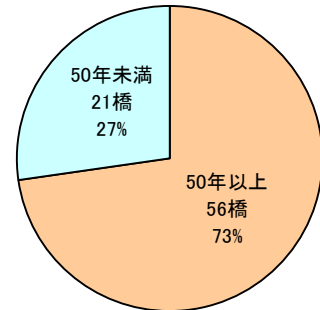
【令和2年度】



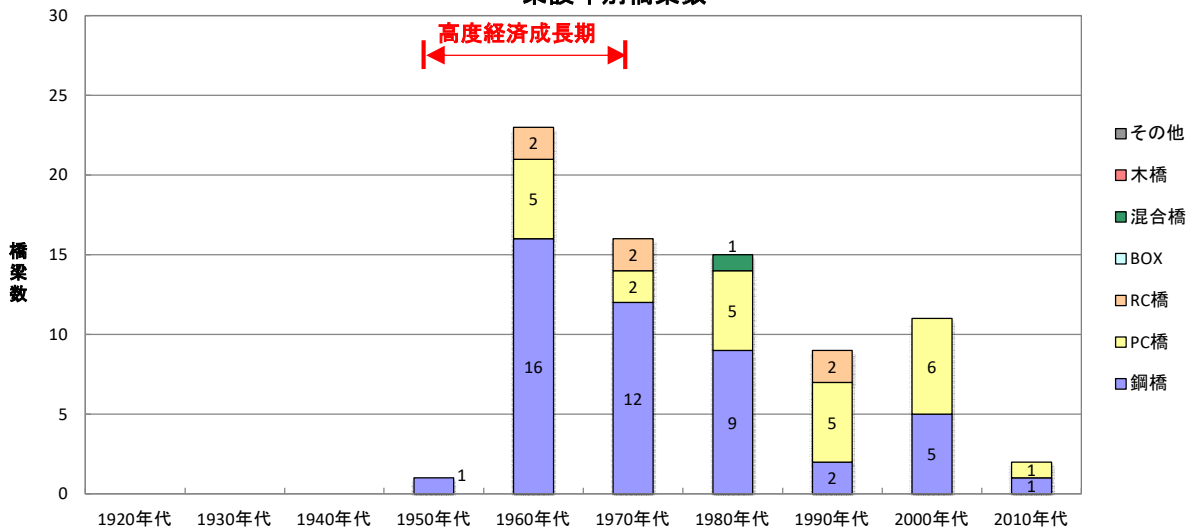
【令和12年度】



【令和22年度】



架設年別橋梁数



## 2. 計画期間

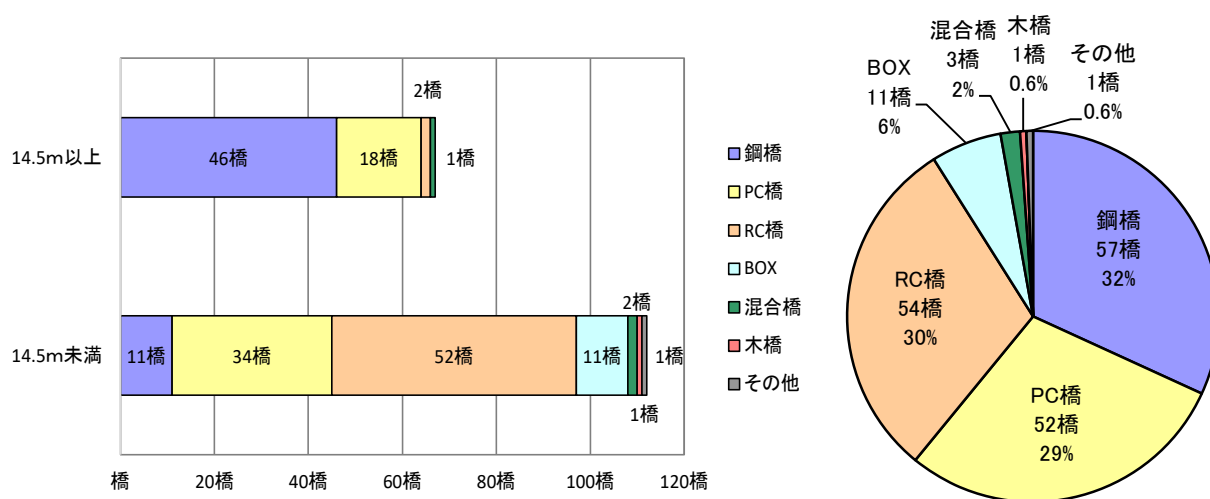
橋梁長寿命化修繕計画（以下、「本計画」という。）の計画期間は、5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、令和4年度から令和13年度までの10年間とします。

なお、点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新します。

## 3. 阿賀町の橋梁の現状

### 橋梁の現況

- 阿賀町の管理する橋梁数は179橋です。
- 179橋のうち、14.5m以上の橋梁は67橋で14.5m未満の橋梁は112橋です。
- 橋梁種別では、鋼橋57橋（32%）、PC橋52橋（29%）、RC橋54橋（30%）、BOXが11橋（6%）、混合橋3橋（2%）、木橋1橋（0.6%）、その他1橋（0.6%）です。



写真全景（石神沢橋（鋼橋））



写真全景（協栄橋（コンクリート橋））

橋梁には上部工の使用材料が鋼の鋼橋とコンクリートのRC橋・PC橋があります。

また、構造形式が一般的な桁橋と特殊な構造である特殊橋があります。

鋼 橋：鋼で造られた橋

RC 橋：鉄筋コンクリートで造られた橋

PC 橋：PC鋼材で補強されたコンクリートの橋

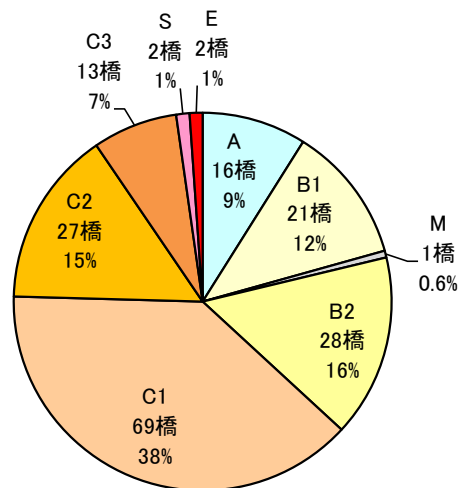
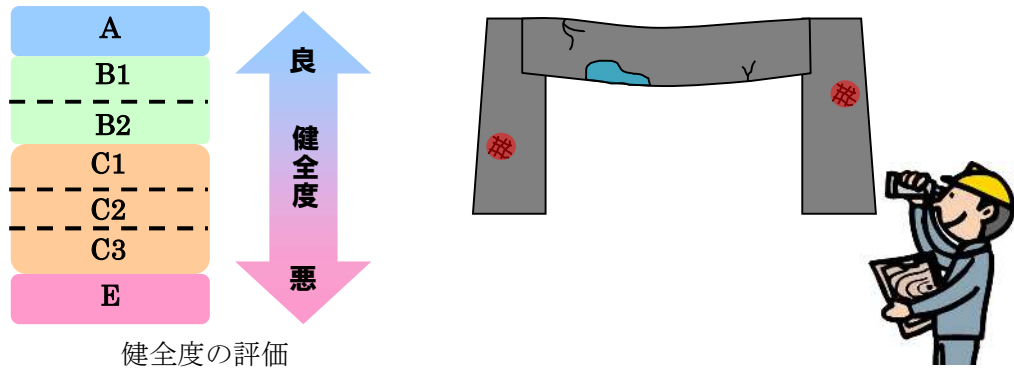
## 4. 橋梁の状態把握

### 橋梁点検の実施

橋梁の維持管理の基本は橋梁の健康状態を把握することです。このための点検（状態把握）やパトロールを阿賀町の管理する全ての橋梁に対して定期的に行っていきます。

点検結果から橋梁の損傷状況を7段階で評価（健全度の評価）することになっています。

これまでに実施した定期点検の結果、何らかの対策を必要とするC1、C2、C3、S、E判定となった橋梁は全体の63%（114橋）となっています。



### 損傷の例

例えば写真のような損傷が発生した橋梁を計画的に補修していきます。橋梁点検により、橋梁の健全度を把握し、補修の必要がある橋梁について優先順位を決定して、計画的に補修を実施していきます。



鋼桁の腐食等



コンクリート橋の剥離・鉄筋露出等

## 5. 橋梁長寿命化修繕計画について

従来の致命的な損傷を受けてから補修する「事後保全」から、損傷が小さいうちに適切な補修をする「予防保全」に転換することで、より少ない費用で橋梁の長寿命化を図ることができます。また、架け替えによる道路交通への社会的・経済的な損失の軽減が期待でき、また道路ネットワークの安全性・信頼性が確保できます。

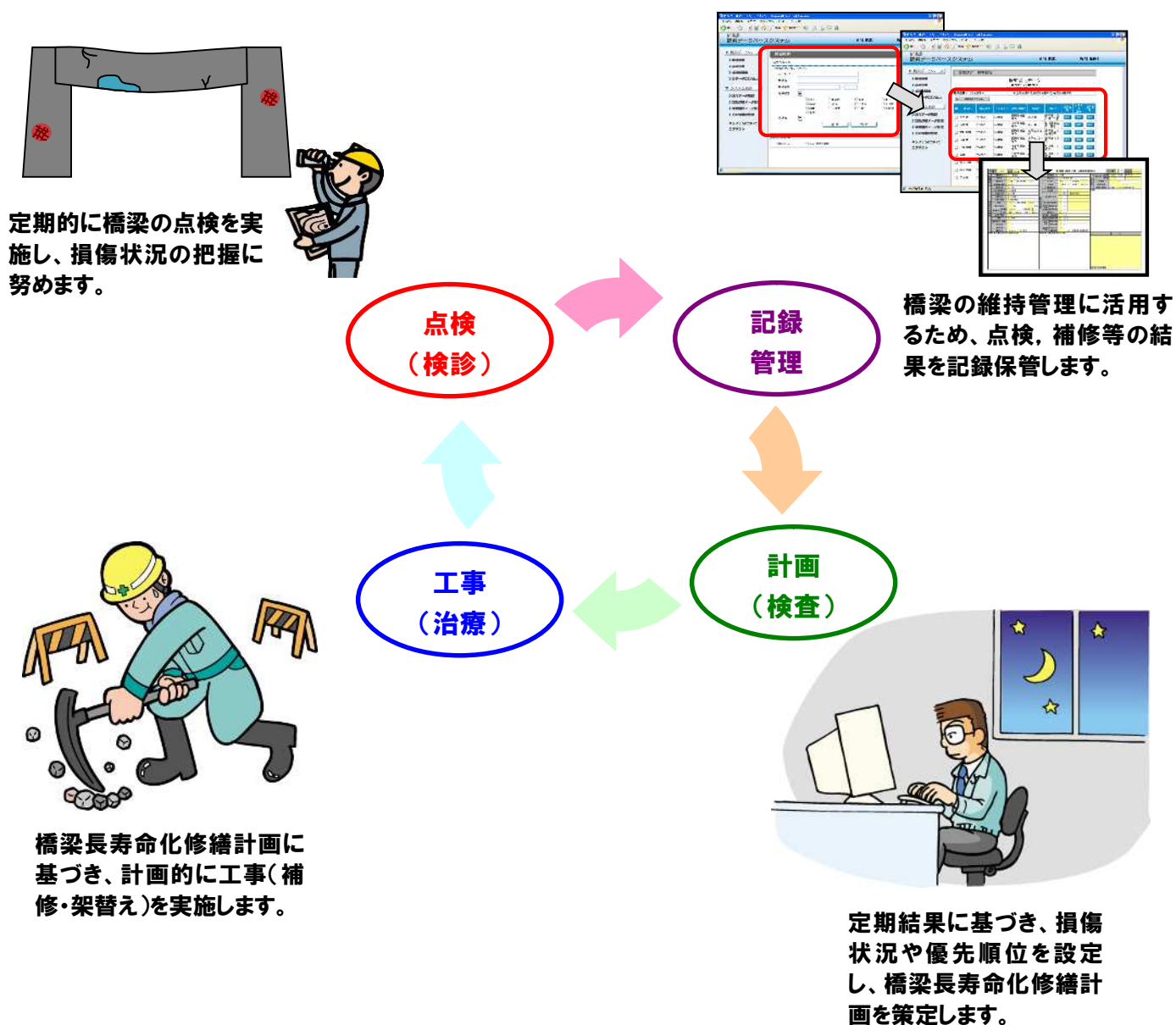
### 事後保全とは・・・

従来の方法で壊れてから大規模な補修や架替えを実施する方法です。

### 予防保全とは・・・

定期的な点検を基に、損傷が小さいうちから計画的に補修を実施する方法です。

### 橋梁長寿命化修繕計画の流れ



## 6. 橋梁長寿命化修繕計画による効果

### 安全性・信頼性の確保

橋の損傷や状態を継続的に把握し、適切な対応をすることで道路ネットワークの安全性・信頼性を確実に確保できます。

### コスト削減の実現

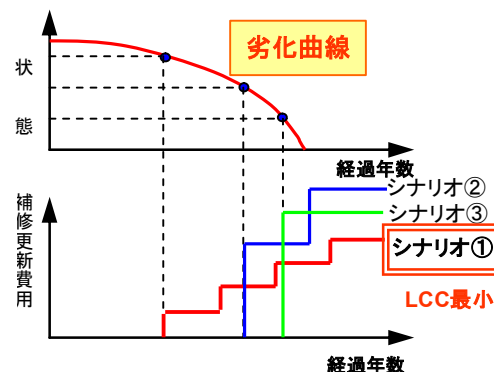
従来の「事後保全」の管理から「予防保全」での管理の導入によりコスト削減が期待できます。

### 平準化の効果

短期的な観点と中長期的な観点の双方を考慮して対策の優先性を判断することにより、限られた予算を有効活用できるとともに予算の平準化が図れます。

### 効率的な維持管理

橋梁ごとの道路ネットワーク機能、利用条件、環境条件等の重要度、および現在の健全度を総合的に判断したうえで計画を策定することにより、個々の橋梁の特性に合致した効率的な維持管理が可能となります。



## 7. 新技術の活用方針

管理する 179 橋全てにおいて、修繕や点検にかかる新技術や新工法の活用を検討します。

点検においては、小規模かつ構造が単純な橋梁でタブレット機器を活用した点検の実施を検討するなど、省力化や費用の削減が見込まれる新技術と従来技術とを比較し、有効なものは積極的に活用していくことで、点検の効率化、高度化を目指します。

また、補修工事においても、新技術や新工法の活用を検討し、事業の効率化を図るとともに、ライフサイクルコストを意識した補修工法の選定を行います。

## 8. 対策の優先順位の考え方

定期点検結果に基づき、効率的・効果的な長寿命化対策が図れるよう必要な措置を講じていきます。なお、対策の優先順位は、橋梁の健全度の他、県内市町村で統一した方針や考え方に基づき計画を策定しています。

## 9. 施設の状態・対策内容及び実施時期

対象橋梁の具体的な施設状態・対策内容及び実施時期について、橋梁の健全度を把握し、補修の必要がある橋梁について優先順位を決定して、計画的に補修を実施していきます。

## 10. 費用の縮減に関する方針

管理する 179 橋全てにおいて、修繕や点検にかかる新技術や新工法の活用による費用の縮減を検討します。

点検においては、小規模かつ構造が単純な橋梁でタブレット機器を活用した点検の実施を検討するなど、省力化と併せた費用の縮減を目指します。

補修工事においても、新技術や新工法の活用を検討し、事業の効率化を図るとともに、ライフサイクルコストを意識して、長期的な視点から維持管理費用の縮減を目指します。

このほか、集約や撤去、機能縮小が可能な橋梁については、今後の町の社会情勢や路線の使用状況の変化に応じ、維持管理費用の縮減を目指します。

## 11. 対策費用

本計画期間内に要する修繕費の概算費用は、約 29.9 億円です。

## 12. 計画策定をした部署と連絡先

**担当部署 阿賀町役場 建設課**

**TEL 0254-92-5765**